

蕨市議会だよりナンバー234 2026年6月発行号

今回の表紙は昨年、蕨駅東口一番街で開催された「あさがおほおずき市」の様子です。ずらりと並ぶ色とりどりのあさがおと色鮮やかなだいたい色のほおずきがとても印象的です。今年は6月27日、28日に開催されますので、ぜひ皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。

蕨市議会広報広聴委員会

電話番号 048-433-7733

FAX 番号 048-432-7991

議員提出議案第2号「令和8年度蕨市立病院事業会計予算に対する附帯決議」を原案可決

令和8年3月定例会は、2月17日から3月23日までの35日間の会期で行われ、初日には市長から施政方針表明が行われました。

代表質問では、6人の議員が施政方針や市政全般について質問を行いました。

(4から6ページ参照)

また、一般質問では、13人の議員が市政の重要課題をそれぞれ取り上げました。(7から13ページ参照)

最終日には、市長提出議案24件を原案のとおり可決したほか、議員提出議案1件を原案のとおり可決しました。

今定例会では、「令和8年度蕨市立病院事業会計予算に対する附帯決議」が議員提出議案として提出され、退席者1名を除き、全員の賛成で原案のとおり可決されました。

本附帯決議は、耐震基準を満たしていない市立病院の建替えを前進させると同時に、実効性のある経営改善を進めるために9つの要望を付したものです。本決議と、本決議への討論の内容は次のとおりです。

提出者 わらび未来の会、公明党、日本維新の会

附帯決議の主な内容 蕨市立病院は、市内で唯一の二次救急指定病院であり、市民の命と健康を守る重要な拠点である。一方で、建設から50年以上が経過し、更新が急務である。

しかし、本市病院事業の経営状況は深刻で、令和6年度決算では約3億2,900万円の純損失を計上。未処理欠損金は約22億5,645万円にまで達している。

さらに令和7年3月時点において約67億2千万円と試算された概算事業費は、令和8年2月の基本設計素案では約90億2千万円、約23億円も増額となった。医療機器等を含めれば実質120億円規模となる可能性がある中で、脆弱な収益構造のまま突き進むことは、病院経営のみならず本市の一般会計そのものを揺るがす事態を招きかねない。

こうした中、蕨市立病院経営危機打開プランが示されたが、令和8年度の目標患者数を令和7年度補正予算において大幅に下方修正した現状から、わずか1年で劇的な回復を遂げることは難しい課題であり、医師の確保などこれまでにない相当の努力が求められる。

経営改善なくして新病院の成功はあり得ないが、大規模災害時における倒壊リスク等をこれ以上放置できないという決断のもと、本予算案を可決するものである。

厳しい経営環境の下でも、市民に求められる必要な機能を維持し実効性のある経営改善を進めるためにも、議会への透明性ある報告と、第三者機関による客観的評価の導入の確実な実施を求め、ここに本附帯決議を付す。

1. 外部アドバイザーによる伴走型支援体制の早期構築
2. 外部アドバイザーによる助言の活用と説明性の確保
3. 基本設計案の妥当性検証と実施設計への反映
4. 実施設計の期間延長
5. 地域医療連携体制への貢献
6. 経営危機打開プランの改善
7. 効果検証と議会への情報共有
8. 建設後 10 年間の財政シミュレーションの公表
9. 一般会計繰出金のガイドライン設定

賛成討論 日本共産党

すでに執行部が実施等を表明している内容も多いが、本市議会が責任ある立場から市立病院の移転建替えに関わり、実現に向けて取り組むことを明確に示す意味において賛成する。救急医療をはじめ、市立病院が果たす役割は極めて大きい。病院経営は全国的に厳しいが、基本設計ではコスト軽減等が図られ、経営危機打開プランの実践も始まった。本市議会は、市立病院整備の重要性と困難さの両面から議論すべき。よりたか市長の下で、市全体の財政健全化や公共施設の耐震化等進められ、市立病院の建替えまできた。引き続き、市議団も力を尽くす。

賛成討論 無所属 みやした議員

本附帯決議は、今後の病院運営や方向性に対し、具体的な視点と課題意識が示されている。執行部との協調でよりよい医療体制を築き、「市立病院があってよかった」と実感できることを期待し、賛成する。

令和 8 年 3 月定例会における議案等に対する賛否結果

議案第 6 号 蕨市行政手続条例の一部を改正する条 全会一致で賛成 原案可決

議案第 7 号 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
全会一致で賛成 原案可決

議案第 8 号 蕨市火災予防条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 9 号 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

わらび未来の会○ 日本共産党○ 公明党○ しんしょうかい○ 無所属（えのもと議員）×
無所属（みやした議員）○ 日本維新の会○ 結果 原案可決

議案第 10 号 蕨市介護保険条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 11 号 蕨市保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成
原案可決

議案第 12 号 蕨市水道事業鉛製給水管改修基金条例を廃止する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 13 号 令和 7 年度蕨市一般会計補正予算第 9 号 全会一致で賛成 原案可決
議案第 14 号 令和 7 年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成
原案可決
議案第 15 号 全令和 7 年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算第 1 号
全会一致で賛成 原案可決
議案第 16 号 令和 7 年度蕨市介護保険特別会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成 原案可決
議案第 17 号 令和 7 年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成
原案可決
議案第 18 号 令和 7 年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算第 1 号 全会一致で賛成
原案可決
議案第 19 号 令和 7 年度蕨市立病院事業会計補正予算第 1 号 全会一致で賛成 原案可決
議案第 20 号 令和 7 年度蕨市公共下水道事業会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成 原案可決
議案第 21 号 令和 8 年度蕨市一般会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 22 号 令和 8 年度蕨市国民健康保険特別会計予算
わらび未来の会○ 日本共産党○ 公明党○ しんしょうかい○ 無所属（えのもと議員）退席
無所属（みやした議員）○ 日本維新の会○ 結果 原案可決
議案第 23 号 令和 8 年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算 全会一致で賛成
原案可決
議案第 24 号 令和 8 年度蕨市介護保険特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 25 号 令和 8 年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 26 号 令和 8 年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 27 号 令和 8 年度蕨市立病院事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 28 号 令和 8 年度蕨市水道事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 29 号 令和 8 年度蕨市公共下水道事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案第 2 号 議案第 27 号「令和 8 年度蕨市立病院事業会計予算」に対する附帯決議
わらび未来の会○ 日本共産党共産党○ 公明党○ しんしょうかい○
無所属（えのもと議員）退席 無所属（みやした議員）○ 日本維新の会○ 結果 原案可決
議案第 9 号、議員提出議案第 2 号については質疑が、議案第 9、21 号、議員提出議案第 2 号につ
いては討論が行われました。質疑、討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放
映」からご覧になることができます。

代表質問

代表質問とは、一般会計当初予算案や市政全体にわたり、各会派の代表者 1 名と、2 人以上の議員
で構成する会派に所属していない議員がそれぞれの持ち時間で質問する制度です。

市の財政運営を問う 持続可能な蕨をつくるための施策を

わらび未来の会 まえかわ やすえ

街の未来を左右する蕨市立病院の今後について

議員 新病院建設費等の増額による他事業への影響が懸念される。将来負担の見通しはどのようなか。

病院事務局長 本事業の財源は病院事業債を活用し、償還は収益及び一般会計からの負担金で対応するが、当初5年間は償還額が大きくなるため、蕨市立病院建設基金を充てる。国の交付税措置に加え、国保直診施設としての整備費補助等の支援制度を活用し、実質的な負担軽減に努める。

令和8年度予算編成

議員 市債が増額となる中、財政リスクをどう考えるか。

総務部長 市債の発行については、歳入の状況や起債の対象事業の規模、交付税措置の有無、世代間の負担の公平性等を総合的に勘案し、後年度負担を考慮した借入れを行っていきたいと考えている。

学校施設整備について

議員 校舎外壁塗装の計画及び建替えに関わる調査状況についてはどのようなか。

教育長 現時点では外壁改修の計画はないが、今後も劣化状況等を見極め計画的な実施に努める。建物や設備の調査状況については、担当課及び学校職員による巡回点検等を行っているが、今後は専門家による精密な劣化診断等の客観的なデータの収集、活用方法等についても研究していく。

誰もが安心して暮らせるにぎわいと交流の広がる街へ

議員 保育園設備改修計画についてはどのようなか。

健康福祉部長 公立保育園リニューアル3カ年計画として、空調設備の取り替え、照明のLED化、トイレの改修、フェンス及び門扉の取り替え、外壁改修を全公立保育園で実施する予定である。

議員 にぎわい交流拠点から旧中山道、駅前までのにぎわい創出の考え方はどのようなか。

市民生活部長 市役所仮設庁舎跡地を活用してにぎわい交流拠点を整備することで、中山道エリアへの集客を図り、蕨駅西口周辺の商店街をはじめ、駅前通りとの回遊性を生むことを目指している。

議員 中山道という横軸におけるにぎわいとして、歴史民俗資料館等の開館時間延長を要望するが、2階へのエレベーターがないため、高齢者や車椅子の方が見学できない。対策を考えていただきたい。

多文化共生について

議員 増加する外国人、外国人児童・生徒に向けた施策・課題に対しての市長の考えはどのようなか。

市長 定期的な生活オリエンテーションの開催、クリーンステーションの多言語表記、日本語特別支援教室の充実等、生活ルール・生活習慣・文化の理解と、学校現場の取り組みという大きな2つの柱としてしっかり取り組んでいく。

暮らしと営業を支える物価高騰対策の推進を

日本共産党 すずき さとし

議員 市政、市民生活、市内経済への物価高騰の影響についての認識はどうか。

総務部長 賃金上昇が進む一方で、市民の暮らしは困窮し地域経済も厳しいと認識。歳入では市税等が増額となった一方、歳出では社会保障関係費用の増、様々な行政課題への取り組みで行政経費が膨らみ、厳しい財政状況が続く。

議員 物価高騰対策について市長の見解はどのようなか。

市長 これまで4回の緊急対策に取り組んできた。今回はさらに思い切った対策が必要と考え、全ての市民の支援につながり全ての方々が使いやすい「織りなすクーポン」を実施。市内事業所を支援する意義もある。いろいろな努力を重ね、当初示した時期より3か月早く、7月に配布、8月から10月末までの利用で実施。確実に期間中に全ての家庭に届け、多くの事業所に参加してもらい、全ての皆さんにしっかり使っていただき、家計の支援と市内事業所の売り上げの増につなげたい。地元商店の魅力発見につながる機会にしていけたらと思う。

今後敬老祝金等の施策を継続するほか、必要があれば柔軟に対応することも含め、引き続き全力を挙げたい。

未来を展望した事業と市財政

議員 多額の予算措置が必要な事業を進める財政的な裏付けについて市長の見解は。

市長 市長就任以来、公共施設の耐震化や子育て支援、教育の充実と、財政健全化との両立を意識。令和6年度決算との比較で借金は約85億円縮小、基金は約73億円増、合計158億円程度の財政改善等の財政健全化を進めた。市役所庁舎は完成し、駅前再開発は今回令和8年度予算をもって基本的に竣工を迎える見通しで、市立病院の移転建替えは基本設計を進めている。基本構想の段階で約63億円だった建設費が基本設計素案では87億円程度に増額したが、起債とともに約30億円の基金を使って対応する。財政見通しを持ち、根拠を示し、市民の理解をいただきながら責任をもって進めていきたい。

子育て短期支援事業について

議員 日本共産党市議団でも実施を要望してきたが、事業の主な内容はどのようなか。

健康福祉部長 保護者の疾病等で家庭での児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設等で一定期間子どもを預かる「ショートステイ事業」。こども家庭センター「わらここ」が相談対応や申請の受理、利用調整等を行う。3施設と委託に向けて協議。年間10件程度の利用を見込む。

スマートウェルネスシティの推進

議員 新年度の事業はどうか。

健康福祉部長 新たに「まちなかベンチ」を設置し、ウォーキング教室を開催。引き続き「蕨あるこうキャンペーン」や「ウォーキングイベント」の開催、健康遊具の設置、歩道の整備等を実施する。

令和8年度予算編成について

公明党 おおいし こういち

議員 支出増にもかかわらず投資拡大を選択した理由はどのようなか。

総務部長 令和8年度予算では、歳出において駅西口市街地再開発事業に係る補助金が、事業の進捗により大幅な増となったこと等により、投資的経費である普通建設事業が大幅に増となった。

議員 人件費増の恒常化リスクはどのようなか。

総務部長 構造的な人手不足や最低賃金の引き上げ、物価上昇への対応により、人件費の増は今後も続くことが想定され、財政運営上の課題の一つであると考えている。

議員 特別会計への繰出金は今後も増える見込みか。

総務部長 国保会計では、医療費水準や公費の拡充等、介護会計・後期会計では高齢化に伴う介護ニーズや医療費等、錦町会計・用地会計では事業の進捗等が主な要因として増減するものと考えている。

議員 公債費について、返済額は今後どの程度増加すると見込んでいるのか。

総務部長 臨時財政対策債等の償還が進む一方で、駅西口市街地再開発事業等、大規模な事業の借入れや金利の上昇等の影響を踏まえると、一定程度の増加は生じるものと見込んでいる。

議員 市の返済負担は財政的に安全な水準にあるのか。

総務部長 財政健全化法に基づく4指標及び年度間の財政調整機能の役割を果たす財政調整基金の残高を見ても、安定的な財政運営を行っていると認識しており、今後も持続可能な行財政運営を行う。

市立病院事業について

議員 今の収支状況が続いた場合、病院の経営は継続できるのか。

病院事務局長 今の経営状況が続く場合、基準外も含めた多額の繰出金が必要となり、財政にも影響が出かねない。経営危機打開プランを着実に進め、経営改善・基準外の繰出金解消に取り組んでいく。

議員 経営改善策が現場の医療体制に無理を生じさせる懸念はないか。

病院事務局長 目標の患者数は現在の人員体制で対応できると考えている。しかし、計画にない新たな取り組みが必要となった場合は追加で人員を確保する等、体制強化にも積極的に取り組んでいきたい。

議員 新病院建設前に、黒字化に向けてロードマップを作成することが大事だと考えるが、市長の見解はどのようなか。

市長 新病院に向けて安定経営が実現できれば、繰出基準内でやっていける返済となる見通しである。基本設計を進めながら、経営危機打開を進めていくことが一番望ましい判断だと考えており、不退転の決意で進めていきたい。

議員 コンサルタントを導入し、市長、副院長と三位一体となって危機を乗り越えてほしいと考えるがどうか。

市長 経営改革、危機打開を進めていく上で、必要な支援を専門的に受けられ、力になるものがあれば、非常に大事であると考えている。

市民会館管理運営費及び市民体育館改修事業について

しんしょうかい こばやし りき

議員 市民会館コンクレホールピアノ更新の経緯はどのようなか。

総務部長 定期的に調律、整調等の保守点検を行ってきたが、演奏に支障が生じるおそれがあるため更新する。

議員 国産より高価なピアノを購入する理由はどのようなか。

総務部長 スタインウェイアンドサンズ社製のグランドピアノ D274 は全国の市民ホール等で広

く採用されており、本市の音楽によるまちづくりにふさわしいと判断した。

議員 比較的安価な国産のピアノを購入し、差額を各公民館のピアノの更新費用等に充当する考えはないか。

総務部長 公民館等のピアノは、定期的に保守点検を行い、支障が出ないように維持している。今後とも必要な対応を図る。

議員 防災拠点の観点から、市民体育館に必要な備品整備や工事等はどのようなか。

市民生活部長 建物や配水管等の耐震化を進めるとともに、資機材等の整備も進めている。

新年度は空調整備設計のほか、LPガス発電機やガソリン発電機等の導入を計画している。

議員 災害時に命を守る観点から、空調設備の一刻も早い設置を強く求める。現時点では議案の賛否を決めず、今日の答弁を踏まえて、改めて一般質問で丁寧に質していきたいと考えており、引き続き慎重に検討していく。

外国人転入者に分かりやすく生活ルールの理解をしてもらうために

無所属 えのもと かずたか

議員 市長施政方針にある「外国人転入者に対し、日本の生活ルールやマナーをお知らせするオリエンテーションの充実」について、これまでとの違いはどのようなか。

市民生活部長 これまで外国籍の方が転入する際に、ごみの分別等のルールに関する情報を周知するために、生活ガイドブックを配布しており、日本語版のみ作製しているが、外国人住民へのごみ出しルール等の徹底のため、新年度は英語、中国語、韓国語、ベトナム語に対応した看板を作製し、クリーンステーション、リサイクルステーション各100か所に設置していきたい。

議員 留守家庭児童指導室は北町A館が市直営から民間委託へ変更となるが、上の階のC館と同事業者に委託すれば、子どもの少ない土曜日を合同保育とすることで効率的な運営が可能ではないか。

健康福祉部長 委託費の削減にもなるので、そのようにしていきたい。

市立病院の必要性と在り方について

日本維新の会 すずき しんのすけ

議員 市立病院の建替えに係る費用は総額でどのくらいか。

病院事務局長 建設工事費や引っ越し費用等合わせた概算事業費の総額は、約117億2千万円を想定している。

議員 本市に公立病院が必要な根拠はどのようなか。

病院事務局長 救急医療、感染症対応の役割、周産期医療の提供、検診事業の対応等、病院、唯一の救急医療機関として、地域医療や市民の命や健康を守る責任を負う上で、最大限努力すべきだと考える。経営危機を打開しながら建替えるという、本市にとって大きな事業を、車の両輪で進めることが必要な判断だということで、市長として決断し提案させていただいた。責任を持って進めていきたい。

議員 大事なのは市民に理解いただくことだと思うが、市民は市立病院に対してなかなかいい印象を持っておらず、非常に難しいと感じている。さらにかみ砕いて市民に説明していくことが必要だと思う。

6月定例会の日程予定

6月 1日 月曜日 開会
3日 水曜日 議案質疑、委員会
4日 木曜日 委員会、分科会
5日 金曜日 委員会、分科会
8日 月曜日 委員会、分科会
15日 月曜日 一般質問
16日 火曜日 一般質問
17日 水曜日 一般質問、委員会
19日 金曜日 閉会

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

3月18日 6月発行号の概要について、議会報告会について

5月13日 6月発行号の最終確認、議会報告会について

市政を問う 一般質問

3月定例会では、12、16、17日の3日間で13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

本市の治安維持と適正な共生社会の構築に向けた諸課題について

おかだ みきお議員（わらび未来の会）

議員 国の新方針に伴う本市の姿勢についてはどのようなか。

市民生活部長 国や県の動向を踏まえながら、本市の実情に即した施策を着実に推進し、全ての市民が安心して暮らせる共生のまちづくりに向け、取り組んでいく。

議員 蕨駅周辺での抗議活動について、小競り合いが市民活動に深刻な影を落としているという現状をどのように認識しているか。

市長 この問題については市外の方々同士の行為によって市民が不安を感じたり、蕨のイメージが悪くなっている状況がある。警察としっかり連携し、市民の安全を守り、イメージアップできるように、これからも努力していきたい。

議員 誰もがルールを守り、安心して暮らせる「穏やかな蕨」を次世代に引き継ぐため、毅然とした実効性のある態度を強く求める。

水道事業の耐震化率における認識の乖離と広報の在り方について

議員 本市の上水道について、基幹管路等の耐震化はほぼ完了しているとの説明が各所で行われているが、一部の重要な管の数値と上水道全体状況は明確に区別して説明しなければ、市民に誤解を与える。情報発信について市の見解は。

水道部長 水道事業の広報紙や市政報告等で、現状をお伝えし、誤解を招くことのないよう、「基幹管路は」「重要施設配水管路は」と説明させていただいている。今後も適切な説明に努めてまいりたい。

障害者計画等策定事業における内容の確認について

議員 重度の障害がある方の入所施設の設置について、令和6年9月議会の質問から今日まで、市長はその実現方法を担当に調査、検討するよう具体的に指示をしてきたか。

市長 当事者の皆さんの声を直接聞いて、必要だということは認識しているが、難しい課題もあり、川口市や戸田市、入所施設を運営している社会福祉法人と近隣での設置について協議させていただいている。何とか実現に向けて、引き続き検討するように担当とは話し、指示もしながら取り組んでいるところである。

議員 障害のある方とその家族が住み慣れた地域で暮らし続けるための最優先課題は入所施設の確保である。検討や協議の具体的なタイムスケジュールと道筋を早急に明らかにするよう要望する。

ひき こうじ議員（わらび未来の会）

学校施設等におけるLED化の進捗について

議員 12月議会でLED化の速やかな実施を要望し、新年度、学校施設と公立保育園等が、LED化される運びとなり歓迎している。学校施設のLED化スケジュールの詳細についてはどのようなか。

教育部長 校舎及び体育館について、全校のLED化を早期に完了させるため、リース方式を採用し、令和9年夏頃までの完了を目指す。市内10校の施工順や工法等については、今後、選定事業者と協議の上決定していくが、児童、徒の安全確保や学校活動への影響を最優先に検討をしていく。また、校庭の夜間照明についてもリース方式を想定しており、令和8年度中に設計調査及び施工を実施し、令和9年度からの供用開始を見込んでいる。

市立病院の午後診療の充実について

議員 今回の経営危機打開プランで、内科、外科での午後診療を実施するということが、どれくらいの患者数増加を見込んでいるか。

病院事務局長 内科については、午前中の診療で、医師1人当たり30人程度の診療を行っているため、その半分以下の1日12人程度、外科については、1日1人程度を見込んでいる。

議員 午後診療はほかにも実施するのか。

病院事務局長 4月から開始する内科、外科、眼科のほか、既に小児科は月、金曜日、産婦人科は月曜日から金曜日の平日に実施している。

議員 順調な午後診療開始を期待している。また、市民の皆さんが利用できるようホームページ、公式ラインでの周知に努めることを要望する。

自転車指導啓発重点地区について

議員 自転車指導啓発重点地区での市の役割はどのようなか。

市民生活部長 警察では自転車指導啓発重点地区、重点路線を指定しており、市内は国道17号とその周辺、また塚越の一部が選定されている。担当課としては、警察と連携してキャンペーン等を実施し、チラシを配布しながら違反の周知を行う。特に4月の切り替え時期には、重点的に行ってまいりたい。

議員 非常に高額な反則金もあるので、スケアードストレイトの教室の中で、違反行為を示しながら、反則金について説明を行う等、啓発に努めていただきたい。

部活動の地域展開 蕨市の今後は

しょうの こうじ議員（わらび未来の会）

議員 改革実行期間令和8年度以降に向けた本市の基本的な考え方はどのようなか。

教育長 国の方針により、令和13年度までに、全国全ての中学校で行う休日の部活動はなくなり、地域クラブ活動に完全に移行する。本市も可能な限り早期に、環境を整備する改革を進めていく。

議員 地域展開していく中で、顧問の先生と地域クラブの指導者の連携がとても重要と考える。トライアンドエラーを繰り返しながら、蕨にとって一番いいスタイルを見つけていただきたい。

市民体育館アリーナ空調整備について

議員 市民体育館改修工事設計委託料計上に至った経緯についてはどのようなか。

教育長 近年の猛暑により、空調設備の最適な方式等について、調査、研究を進めてきた。

令和6年度で小、中学校体育館の空調設備の設置が完了したことを受け、市民体育館が災害時の避難所に指定されていることから、国の緊急防災、減災事業債の活用も見込めるといったこと等により、令和8年度当初予算に計上することとなった。

議員 市民体育館は市内で唯一の市民体育館であり、大会や各種行事等、多くの利用がある。利用団体への周知の時期や大会や催しの調整への配慮等、円滑な整備に向けた対応について、市としてどのように考えているか。

教育長 工事の詳細が決まり次第、できるだけ早く周知し、各団体にて大会時期の変更や、別会場での開催等を検討していただくようになると考えている。

議員 エアコンが設置されることで、市民の方々にもより快適に利用いただけると思う。順調によりよい方式のものを設置していただくことを期待している。

手持ち花火の出来る場所の検討について

議員 以前にも取り上げているが、子どもたちの夏の思い出づくりという観点から手持ち花火の出来る場所について前向きに検討していただきたいと思うが、市の見解は。

都市整備部長 安全管理や近隣トラブルの観点から、公園での花火の使用は原則として禁止しているが、今後本市の公園事情等を踏まえ、調査、研究してまいりたい。

議員 公園に限定せず、様々な場所で、前向きに検討していただきたい。

市立病院建替え整備事業の妥当性と経営基盤について企業版ふるさと納税について

とちもと よしかね議員（わらび未来の会）

議員 新市立病院の建設工事費が、約 63 億 4 千万円から約 87 億円へ増額となった要因と今後の見通しはどのようなか。

病院事務局長 現在の物価高や建設業界を取り巻く環境等を反映した概算工事費となっている。建設工事費は上昇傾向にあるが、品質と機能を維持しながらコスト抑制を図る。

議員 建設費増額が市財政に与える影響及び将来的な公債費負担の見通しは。

総務部長 市立病院建設費の増額により、一般会計の負担分は、増額するものと考えている。また、将来的な公費負担は、駅西口市街地再開発事業等の借入れや金利の上昇等の影響を踏まえると、一定程度の増加は生じるものと見込んでいる。

議員 経営危機打開プランの実効性、実現性をどのように担保するのか。経営改善が進まない中で建替えを進めることへの認識についてはどのようなか。

病院事務局長 建替えは、新病院における収益性を含めた適正な規模、診療機能であり、計画的に進めていくことが最善であると考えている。現病院の経営は大変厳しい状況ではあるが、プランを着実に実行し、現在の危機的な経営状況を解消していく考えである。

議員 専門家の知見を入れて確認いただいた上で、ぜひ市民にとって、安心、安全の基となる病院事業を進めていただきたい。

乾燥期における本市の消防対応と防火対策について

議員 延焼拡大のおそれがある地区の把握及び狹隘道路地区での消防活動の想定についてはどのようなか。

消防長 木造住宅等が密集している地域や消防車両の進入が困難な地域等の把握に努めており、消火活動が迅速かつ円滑に実施できるための警防計画を策定している。

議員 今後の減災対策、市民への啓発及び自主防災力向上の取り組みについてはどのようなか。

消防長 資機材等の整備や関係機関との連携強化等、減災対策に取り組んでいる。また、自主防災会訓練等を通じ、初期消火訓練や A E D 操作訓練のほか、商業施設等では避難体制の指導を行う等、自助、共助の重要性について周知を図り、地域における防災力の向上に努めている。

議員 今後も地域の実情を踏まえた実効性のある防火、消防体制の整備を期待する。

不登校の児童、生徒に対する健康診断の実施について認知症対策について

やじま さとこ議員（公明党）

議員 学校での健康診断未受診により、疾病の予兆が見過ごされ、成長に伴い重症化してしまうことが懸念される。

大阪府吹田市では、小、中学生が学校外で健康診断を受ける場合に市が補助している。

本市でも未受診の児童、生徒に対して、健康診断を受診できる体制を整えることはできないか。

教育部長 学校保健会の理事会で未受診者の医療機関での対応を協議しているが、今後も医師会等と協議を重ね、検討を続けていきたい。

議員 全ての子どもが安心して健康診断を受けられる環境づくりが大切である。

新市立病院建設基本設計について

議員 健診事業は、利益性が高く、自費診療が中心であるため、安定した収益源となる。新市立病院で健診事業を実施するに当たり、収益の見込み、病院経営の改善効果についてはどのようなか。

病院事務局長 健診事業としては年間2億円程度の収益を見込んでいる。担当する医療スタッフからは、収益増に意欲的な意見等も出ており、新病院では経営の柱の一つと考えている。

議員 現在の透析医療を取り巻く環境変化に対する現状と今後の課題はどのようなか。

病院事務局長 日本透析医学会の集計では、全国の透析患者は2021年をピークに減少しており、患者の平均年齢は上昇傾向となっている。

今後、患者の高齢化は避けられないことから、介護的なサポートも必要になる可能性があると考えている。

蕨市民体育館、北町公民館の利便性向上について

議員 駐車場を北プラザに設置することについて、今後どのように考えるか。

教育部長 北プラザは、駐輪場や各種イベント、市民の交流の場としても利用されており、施設の利用状況や課題の洗い出し等を踏まえながら、引き続き研究していきたい。

議員 災害時の空調確保という観点から、LPガス式GHPの導入を選択肢として検討する考えはあるか。

教育部長 競技への影響をなるべく抑えることが前提であるが、ご指摘のような視点も大事だと認識している。多くの視点、選択肢の中で検討した上で進めていきたい。

議員 停電時も稼働できる空調方式の検討は、避難所機能の強化に直結する重要な課題と考える。ぜひ検討していただきたい

捨てるごみだが回収すれば資源の廃食用油のリサイクル

ほんだ てい子議員（公明党）

議員 家庭系廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料や航空燃料サフの原料にリサイクルしてはどうか。

市民生活部長 こうした取り組みは、ごみの減量化及びCO₂削減につながる一方、回収事業者の確保、回収拠点、管理体制の構築、また、国内におけるサフの生産事業者が限られているため、高額な輸送コスト等が課題であり、調査、研究が必要であると考えている。

議員 温室効果ガス排出量「50%削減」目標は2030年までに達成できるのか。

市長 行政、企業、市民が連携することで、達成が可能だと考える。また、今回提案いただいた廃食用油の再利用が広がれば、CO₂削減のさらなる効果が期待できると感じた。第3次環境基本計画のいろいろな取り組みを含め積極的に推進し、取り組みを加速化させ、目標を達成したい。

市職員の働き方改革について

議員 若手職員における早期退職の傾向と課題はどのようなか。また、講じている対策はあるか。

総務部長 退職理由は、転職が多い傾向にあり、職員の知識や経験の蓄積、ノウハウの継承においては、組織力の維持に影響があると考えている。ブラザーシスター制度の導入、メンタルヘルス研修の実施、ワークライフバランスの推進等、働きやすい職場環境づくりを行うことで、早期退職へ

の対策を講じている。

議員 「選択的週休3日制」や「フレックスタイム制」を導入してはいかがか。

総務部長 柔軟な働き方が可能となる一方、窓口が混雑し、住民サービスの低下を招くことや、職員間の連携不足による情報共有不足及び業務効率の低下を引き起こす懸念があることから、他自治体の取り組み状況や事例等を注視し、調査、研究していく。

こころの体温計について

議員 オンラインの自己チェックを入りに、相談支援につなぐ仕組みを整備すべきであると考えられるかどうか。

健康福祉部長 こころの体温計は、結果の画面に続いて市の相談窓口や専門機関の連絡先が表示される仕組みとなっており、様々な悩みに対する相談先を分かりやすく情報提供できるよう取り組んでいく。

議員 市民の心の健康管理に役立つよう生かしてほしい。

令和8年度に策定する塚越ビジョンを未来への財産に

かなまる けんじ議員（わらび未来の会）

議員 塚越ビジョンとは、多様な市民の声を冊子にまとめ、それを今後の蕨のまちづくりに役立てるものだという事は分かった。塚越ビジョンをより効果の高いものにするための考えはどのようなか。

市長 小さい市とはいえ、塚越地区は線路で区切られていて、市役所をはじめ、病院も塚越地区側ではないという意識、課題は避けられない。皆さんのいろいろな思いを汲み取り、すぐにできること、できないこと、将来の課題を出し合って形にしていくことは、まちづくりのあるべき姿としては素晴らしいものがある。ビジョンの柱として、暮らしの部分と歴史や文化の部分、そして、未来の部分の部分が大事になるという点では、かなまる議員に非常によくまとめていただいている。その中でも東公民館の存在は大きく、当面は行政センターの機能として強化していこうと考えている。また、東公民館の周辺には塚越グラウンド、公園、学校があり、まさに塚越地区の中心になっている。今後の在り方も含めて、将来の思いがあれば聞かせていただき、当面のことや将来の夢が盛り込まれたものになればいいなという思いを持っている。

議員 例えば、東公民館がオンラインで市役所とつながる、塚越プールの再活用、商店街の活性化、多文化共生、多世代を交えたまちづくり等、世代と時代を超える良いビジョンとなるようお願いしたい。ヒアリングの対象外となった市民が意見を述べる窓口設置の予定はあるか。

総務部長 市民からご意見を伺うために想定している方法は、キーパーソンヒアリング、市民懇談会、アンケート調査、パブリックコメント等があり、それ以外の方法は現時点では予定していない。ご意見等をお持ちの方については、随時担当部署等でお伺いしたいと考えている。

市立病院の経営力向上と機能強化に向けて

議員 外部有識者等による経営アドバイスの拡充予定はどのようなか。

病院事務局長 現在の経営状況から一刻も早く脱却するためには、専門家による経営アドバイスの必要性を感じている。特に一緒に行動してくれるような実践的かつ効果的なアドバイスが求められるので、自治体病院に精通した専門家の活用を検討している。

蕨のにぎわいにつなげるために

すずき しんのすけ議員（日本維新の会）

中山道地区におけるにぎわい交流拠点の整備について

議員 にぎわい交流拠点の整備は何のために何を見据えて行う事業なのか。

市民生活部長 蕨駅西口の再整備が進められ、新たな集客拠点として形成されることに連動し、官民連携により整備することで、中山道エリアの集客を図り、商店街をはじめ、駅前通りとの回遊性を高め、まち全体の活性化とにぎわい創出を目指している。

議員 物販スペースがこの場所に必要な根拠は何か。

市民生活部長 歴史ある一番目立つ場所に整備することで、中山道にマッチする景観として蕨ゆかりの品等を販売するという場所の価値だと考える。

議員 物販スペースは、事業者及び商品が一定期間で入れ替わるポップアップストアにすることを提案する。多目的スペースを運営する上で公共性を示してほしいと思うが、どのように考えているのか。

市民生活部長 地域のにぎわい創出と地域活動の活性化を図るスペースとしての位置づけが重要だと考える。また、運営についても、公平性、透明性を確保した利用ルールの下で行うとともに、利用状況や事業実績については、適切に把握、検証を行い、公共施設としての信頼性と利便性を担保していく。

議員 人工芝広場の活用方法についてはどのようなか。

市民生活部長 イベント開催や親子教室等、多様な活用を想定し、にぎわい創出に資する企画については、関係団体や管理運営事業者と連携しながら展開していく。また、冷暖房を完備した休憩スペースを設置し、年間を通じて利用可能な施設とする予定である。

議員 人工芝広場及び休憩スペースでポッチャや将棋等の無料貸し出しを実施してはどうか。

市民生活部長 何を用意するかは今後の検討となるが、置いてあるものを自由に使用して遊んでいただくことは良いと考えている。

議員 にぎわい交流拠点の整備は、空き店舗対策にもつながる事業としなければならない。まだ関わっていない市民や事業者たちをゼロベースから関わらせて、まち全体のにぎわいにつながることを共有しながら事業を進めることで、活気につながると考える。

命と健康を守る拠点、市立病院の建替え

すずき さとし議員（日本共産党）

議員 地域の医療需要の見通し、市立病院の救急受け入れ数と分娩数はどのようなか。

病院事務局長 超高齢者社会を背景に2025年と2050年の比較で1日当たり入院

71人増、外来186人増が見込まれる。令和6年度の救急搬送件数は854件、同年度の分娩数は184件。

議員 市立病院の必要性についての見解はどのようなか。

病院事務局長 市内唯一の救急医療機関であり、災害時や感染症対策等、市民の命と健康を守る拠点。外来は紹介状なく受診できる等の利便性を身近に感じてもらうため、塚越、南町への送迎等、サービスの充実を図り、喜ばれ、必要とされる病院を目指す。

議員 経営改革等については引き続き質問していくが、万一、市立病院の経営が成り立たなくなれば、大きな医療の空白が生まれることになる。新たな魅力的な病院をつくることとともに、経営改革を進めること、全体の財政運営の中で事業を支えることもあわせて進めてほしい。

にぎわいと活力のあるまちを

議員 中心市街地活性化プラン推進にあたっての課題はどのようなか。

市民生活部長 駅西口再開発や駅前通り、中山道の拠点等整備を計画的に進め、回遊性活性化のため、空き店舗解消や既存店舗の伴走型支援等にも力を入れ、中心市街地を下支えする商業や都市機能の強化、担い手の育成等、一体的事業展開に努める。

議員 回遊性あるまちづくりのために、中山道の「にぎわい交流拠点」の役割や連携、推進体制等はどのようなか。

市民生活部長 駅西口再開発により新たな集客拠点が形成されることに連動し、官民連携の整備事業で中山道エリアに新たなにぎわいを創出し、駅西口周辺と駅前通りを結ぶエリアの回遊性を高めて、まち全体の活性化、にぎわい創出を目指す。民間機能施設は高い集客力を示しており、回遊性に最大限生かす。地域との連携や管理運営事業者によるまち探検等を検討するが、企画力、運営能力のある管理運営事業者を令和8年度中に公募し、決定する。市民の声を聞きながら連携協力を進め、利用状況や事業実施の把握、検証を通じ、継続的運営に努める。

ほかに「高齢者の居場所づくり」「私の希望ファイル」について質問。

学校プール跡地利用の見通しは少子化と多文化共生を問う

えのもと かずたか議員（無所属）

議員 小学校の一部において、プール授業の民間委託が始まり、スポーツクラブでインストラクターが指導している。特に配慮の必要な児童についてなど、担任の先生との情報共有はどのようなか。

教育部長 常時、学校とのやり取りも含め、打ち合わせをこまめに行っている。

議員 学校プールの跡地について、バスケットボールコートにするなどの先進事例がある。市としての考えは。

教育部長 今後も情報収集していきたい。

市内を流れる、みぬまだいようすいの今後は

議員 市内を北町から錦町に流れる、みぬまだいようすいの今後の見通しはどのようなか。

都市整備部長 みぬまだいようすいは、みぬまだいようすい土地改良区が管理する用水路で、古くからかんがい用水として広く利用されてきたが、都市化が進み、本市と下流の戸田市では組合員がいなくなり、農業用水の役割を終えつつある。錦町側は土地区画整理において、水路の付け替えが予定されており、改良区と協議を進めている。

議員 市民から意見、苦情は。

都市整備部長 年に数件、水草の繁茂による流れの阻害、樹木の張り出しによる通行障害について市に情報が寄せられるが、改良区に申し入れるなど対応している。

議員 北町側にある桜の木の根の発達による道路の盛り上がりへの対応や、錦町側のヘドロ対策など、市民からの要望には適切に対応してほしい。

再開発後の蕨駅西口連絡所の見通しは

議員 令和7年度行政評価において、駅西口連絡所管理費は「その他見直し」となっているが、今後の見通しは。

総務部長 連絡所2階の化粧室については、開設より45年が経過し老朽化が著しく、駅西口再開発ビル内に化粧室の設置が見込まれることから廃止も含めた検討を行っている。

議員 耐震性はどのようなか。

総務部長 新耐震基準以前の建物で耐震化も行っていない。

議員 化粧室の年間維持費は。

市民生活部長 令和6年度は約660万円を計上。

議員 駅西口再開発ビル内に化粧室ができれば必要なくなる。現在バリアフリーに全く配慮されていないので、新しい施設の化粧室には期待をする。建物に入っているシルバー人材センターやバス会社には丁寧な説明を行ってほしい。

市民会館コンクレホールピアノ更新について

こばやし りき議員 (しんしょうかい)

議員 ピアノ更新に当たり、国産ピアノを含めた複数の選択肢の中から、スタインウェイアンドサンズ社製のピアノを想定している理由と検討過程はどのようなか。

総務部長 他団体でのピアノの導入状況や価格、耐用年数等の比較検討を行い、現在ではスタインウェイアンドサンズ社製のグランドピアノD274が全国の市民ホール等で数多く採用されていることから、音楽によるまちづくりを推進している本市の文化芸術の拠点にとってふさわしいピアノであるものと考え、購入を想定しているところである。

議員 市民に対してどのような説明をすることで、1台4,577万5千円もかけてピアノを購入することへの理解促進を図っていく考えか。

総務部長 スタインウェイアンドサンズ社製のピアノは、高い音質と耐久性で広く知られており、演奏者からも多くの支持を受けている。

また、市民の福祉向上、文化芸術の振興等、市民会館の目的にも合致し、有用な物品の購入になるものと考えていることから、市民に対して機会を捉えて説明を行い、理解促進を図ってまいりたい。

市民体育館の空調設備について

議員 市民体育館は日常のスポーツ施設であるだけでなく、災害時には避難所となる重要な施設である。市民体育館の空調設備はどのようにあるべきと考えているか。

教育部長 競技への影響を抑える方式を考慮するとともに、災害時の避難所に指定されていることから、動力供給の安定性、環境への配慮等の比較、検討を行い、最適な方式、設置場所を検討し、

導入すべきものと考えている。

議員 事業実施に当たり、事業計画はどのように検討され、事業費はどの程度になると想定しているのか。また、維持管理費についてはどのようなか。

教育部長 事業費、維持管理費については、採用する方式により大きく異なることが想定されるため、今後、設計作業の中で精査、明示がなされてくるものと考えている。

議員 まずは庁内で協議し、ある程度詰めたものを予算計上するのが務めだと思う。計上してから考えるというのは予算が膨らむ。まずはアイデアを出し切るというのが大事。

今後、生かしてもらいたい。

ほかに「議員定数削減」について質問。

障がいのある児童等の療育や相談体制の整備を

やまわき のりこ議員（日本共産党）

議員 未就学児の発達支援について取り組み状況はどのようなか。

健康福祉部長 障害の早期発見から療育につなげるための相談支援や医療機関の受診等を経て、障害児支援利用計画を作成の上、サービスの利用による療育を開始する流れとなっている。

議員 認定心理士や臨床心理士等の専門家の配置等、相談体制を拡充する考えはどうか。

健康福祉部長 保健センターでは、乳幼児健診時の相談対応のため、臨床心理士を配置。

個別相談事業の「すこやか発達相談」では臨床心理士を、「精神発達2次健診」では小児科医、臨床心理士の配置を継続していく。

議員 保育園と児童発達支援センター、事業所との連携はどうか。

健康福祉部長 加配保育士を配置している障がいのある児童の人数は、現時点で認可保育園が14名、小規模保育園が2名。保育園では児童発達支援センターあすなろ学園が実施する「巡回相談」を依頼し、障害や発達のおまじぎを持つ児童の支援方法について、保育士が助言を受けることができるほか、保育園と児童発達支援事業を併用している児童については、「保育所等訪問支援」等により、児童発達支援センター、事業所による定期的な訪問を通して連携を図っている。

議員 特別支援教育支援員の配置状況はどうか。

教育長 現在、小、中各学校に1名ずつ特別支援教育支援員を配置。令和8年度は、5名増員予定で、配置校については、授業中の個別の支援や作業の際の安全確保、また、日常生活の介助の度合い等、各学校の実態把握を行った上で、判断していく。

ユースクリニックの設置に向けて

議員 思春期の若者が気軽に訪れて、性に関する相談や性の正しい情報を得たり、メンタルサポート等が受けられる「ユースクリニック」の設置に向けての検討はどうか。

病院事務局長 中学生から20代の青少年を対象に性の悩みや月経困難、過多月経等の不安、思春期特有の身体的・心理的变化に伴う不安やストレス、心の悩み等に対する相談を4月より毎月1回実施する。

ほかに「子育てするならわらび、保育行政の推進」について質問。

男女共同参画の啓発について

みやした なみ議員（無所属）

議員 男女共同参画はすべての人が尊重され、自分らしく生きられる社会の土台で、自治体が継続して取り組むべき重要なテーマ。啓発紙「パートナー」のバックナンバー及び作品募集事業の市ホームページへの掲載について、市の見解はどうか。

市民生活部長 バックナンバーについては、閲覧しやすい形に整え、早急に掲載する。応募作品については、過去の受賞作品についても工夫して掲載し、市の取り組みを紹介していきたい。

S R H R、性と生殖に関する健康と権利及び包括的性教育について

議員 S R H Rについては、令和6年6月議会でも問題提起や要望をしてきたが、その後の取り組み状況はどうか。

教育部長 従来より、性に関する知識や心身の発達について指導してきた。また、ライフスキル教育の手法を用いた学習プログラムにより、自分の気持ちを適切に伝える力や、相手の立場を尊重するコミュニケーション能力を育む等、教育活動全体を通じて包括的な視点での指導に努めている。

議員 「いのちの安全教育」をより多くの学校に広げてほしい。子どもたちの感想等は。

教育部長 「断られたら、うん、分かったよと言おうと思う」「尊重するというのは、ただ優しくすることではなく、その人の考えや生き方を認めることなのだ分かった」といった感想が寄せられた。

議員 更なる推進に向けてどのように取り組む考えか。

教育部長 外部講師を招く際の予算を教育委員会として確保しており、柔軟に対応できる体制を整えている。

議員 ユースクリニックの具体的な検討内容や今後の方向性はどのようなか。

病院事務局長 毎月1回、予約制での実施を計画している。来年度には助産師が思春期保健相談士等の研修を行う等、若い人たちの性の悩み等について確実に対応できる体制づくりを構築していく。

「フェムテック」イコールフィメールプラステクノロジーについて

議員 近年、「フェムテック」と呼ばれる新たな支援の形が広がっている。デジタル技術を活用した相談支援や情報提供について、窓口につながる動線を整えてほしいがどうか。

健康福祉部長 市ホームページや、公式ライン等を活用し、女性や若年層の方がより情報や相談につながりやすい環境を整備していきたい。

政務活動費の領収書を公開しています

蕨市議会では、政務活動費の用途について、その透明性をより高めるために、蕨市議会ホームページにおいて令和7年度分の領収書等を公開しており、蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。なお、各会派の収支報告内容は以下のとおりです。議員1人当たり月額3万3千円の政務活動費が交付されました。

令和7年度政務活動費収支報告

わらび未来の会 8人

交付額 234万3千円

調査研究費 0円

研修費 0円

広報費 103万7,370円

広聴費 0円

資料作成費 29万4,471円

資料購入費 33万2,145円

支出額 166万3,986円

返還額 67万9,014円

日本共産党 3人

交付額 118万8千円

調査研究費 0円

研修費 3万9,160円

広報費 72万6,362円

広聴費 2,620円

資料作成費 15万6,195円

資料購入費 11万2,302円

支出額 103万6,639円

返還額 15万1,361円

公明党 3人

交付額 118万8千円

調査研究費 0円

研修費 18万10円

広報費 15万8,730円

広聴費 0円

資料作成費 38万5,551円

資料購入費 50万8,042円

支出額 123万2,333円

返還額 0円

しんしょうかい 1人

交付額 122万1千円

調査研究費 9万6,586円

研修費 6万1,340円

広報費 0円
広聴費 0円
資料作成費 21万2,762円
資料購入費 18万979円
支出額 55万1,667円
返還額 66万9,333円

日本維新の会 1人
交付額 39万6千円
調査研究費 0円
研修費 0円
広報費 0円
広聴費 0円
資料作成費 7万9,726円
資料購入費 0円
支出額 7万9,726円
返還額 31万6,274円

無所属 みやした議員 1人
交付額 39万6千円
調査研究費 0円
研修費 4万9,780円
広報費 0円
広聴費 0円
資料作成費 6万9,587円
資料購入費 9,690円
支出額 12万9,057円
返還額 26万6,943円

※しんしょうかいの会派人数は令和7年6月25日に9人から5人となり、6月26日に2人となったため、令和7年7月分より2人分の政務活動費の支給となりました。また、令和7年7月9日に2人から1人となったため、令和7年8月分より1人分の政務活動費の支給となりました。

※ わらび未来の会は令和7年6月26日に3人が会派届を提出し、結成されました。6月30日には4人から会派届が提出されたため、令和7年7月分より7人分の政務活動費の支給となりました。また、令和7年7月9日に1人から会派届が提出されたため、令和7年8月分より8人分の政務活動費の支給となりました。

※ わらび未来の会は 67 万 9,014 円を、日本共産党は 15 万 1,361 円を、しんしょうかいは 66 万 9,333 円を、日本維新の会は 31 万 6,274 円を、無所属みやした議員は 26 万 6,943 円をそれぞれ返還済みです。

※無所属えのもと議員は政務活動費の交付申請をしていません。

議場を見学してみませんか

蕨市議会では、議場の見学を受け付けています。

ご希望がありましたら、事前に議会事務局までお問い合わせください。

見学可能日 月曜日から金曜日 年末年始、祝日等を除く 午前 9 時から午後 4 時

議場使用等のためご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。

問い合わせ 市役所 5 階 議会事務局

電話 048-433-7733

編集後記

A I の進化により、情報収集や分析の方法は変わりつつあり、活用する議員も増えてきました。こうした中で、蕨市議会では今まで以上に自らの質疑や討論の言葉に責任を持ち、多様な立場から建設的な議論を重ねています。蕨市の限られた財源の中で何を優先すべきか、今を生きる市民と未来の市民を守るにはどうあるべきか。一人ひとりの議員に届く声も価値観も異なるからこそ、相手の考えも尊重した上で、最終的に何を優先するかを判断し、その結果に責任を持つことが議員の役割です。地域の実情を踏まえながら、今後も市民の皆さまの声を大切にし、より良い意思決定につなげてまいります。

広報広聴委員会

委員長、おかだみきお

副委員長、かなまるけんじ

委員、みやしたなみ、すずきしんのすけ、しょうのこうじ、やじまさところ、えのもとかずたか、すずきさとし、おおいしけいこ、ふるかわあゆみ